

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラスワンキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童、保護者の満足度などは高いこと。アンケートの結果から良い評価をいただきました。	子供たちが安心して過ごせるよう、環境を整え心の状態を常に考えています。	引き続き高い評価を頂けるように、スタッフの質を高めたいと思います。
2	個別支援計画や支援プログラム作成の専門性や、毎日の詳細な記録の記入など、事業所として力を入れている強みであり、適切な支援の提供がされていると評価もいただきました。	保護者との連絡を密に行い、より個のニーズに対応した支援を考え提供しています。	事業所の強みである支援の専門性を高めるために、スタッフとの情報共有や課題に対する認識を統一し、また研修等により事業所として専門性の向上を目指していきます。
3	保護者と密に連絡を取り、課題やニーズの把握、行っている支援の説明等を詳細に行っていること。	事業所開始当初の説明や、支援内容の説明、日ごろの様子を伝えるコミュニケーションを大切にしています。	事業所と保護者が気軽に相談できたり、保護者同士が横のつながりを持てるような交流の場を作りたいと思います。また、そこで兄弟同士の交流も提供し、兄弟支援もしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の他の子どもとの交流のする機会がほとんどない。	障がい特性などの地域への理解の促しが難しく、交流の機会のためのハードルが高く感じ実現が難しく感じています。	地域の公園に出かけたときなどに、出会った人とのコミュニケーション図り、地域における認識や理解を高めようことから行っていこうと思います。
2	保護者同士、兄弟同士の交流の場の提供ができてない。	日々の業務が忙しく、交流の場の提供に費やせる時間が少ないこと。	交流の場を作ることを年間計画に入れ、実行に向けて努力していきます。
3	職員による避難経路や役割の確認、消防署での地震体験などは行っているものの、定期的な避難訓練の実施が少ない。	利用児童の過敏さや集団行動が苦手なという特性から、訓練の実施が困難に感じてしまう。また、事業所前が車通りのある道路で安全面に不安を感じてしまう。	視覚支援により行動の理解を促したり、集団で移動する訓練を行うことで、訓練実施できるようにしていきたいです。また、避難訓練の計画を詳細に決め安全面に配慮して実施したいと思っています。